



親に結婚を 反対された親友

● 親友のことで相談です。彼には学生時代に東京で出会った県外出身の彼女がいます。結婚したいと言っていますが、日ごろから両親に「ナイチャー嫁だけは許さんよ」と言われてきた手前、決断できずにいたようです。先日ようやく意を決して親に話すと、けんもほろろに「会いたくもない」と一言。以来、深夜に酔っ払っては相談の長電話がかかってきます。励ましてあげたいのですが、どんなアドバイスをしとすればよいのでしょうか…。(セイショウ=33歳)

今週のお助け人

きえ りゅうしょう
帰依 龍照さん

コザ真宗寺(旧コザ本願寺)住職、琉球大学仏教研究会会長。趣味は、見た目に合わせた大型バイクと、見た目に合わない熱帯魚飼育。自分の存在そのものが、人々の癒やしてあげば…と日々願う。座右の言は「恩は石に刻み 怒みは水に流せ」。

親友であるセイショウさんからのご相談です。彼にどのようなアドバイスをしてあげれば良いのかにポイントを絞ってあげようね。もしこれが本人からの投稿であれば「よっしゃあ！そのまんま愛を貫けえ！」と大喝采を送るところ。ぜひ頑張ってくださいと思います。知っています？ 週刊レキオの編集者Mさんと回答者のわたしがナイチャーであるということ。まあ、因果と申しましょうか：何か深いご縁を感じます。えっ、そんなことないチャー…さむっ！ さあ、盛り上がってきたところで本題といきましょう。

両親と対決させない

セイショウさんが親友としてアドバイスできることは、ズバ

り彼のご両親の考え・立場を正確に彼に伝えてあげることではないでしょうか。

世間では、物事を解決しようとすると、善悪の判断を急ぐあまり、すぐに悪魔を仕立て、犯人を探そうとする傾向があるような気がします。つまり、分らず屋で頑固なご両親と決めつけ、愛の力で強引に説得させるといって考えです。まあ、これどうまくいく例もあるでしょうが、将来の妨げになるかもしれない。

「雨降って地固まる」のことわざのように、そのトラブル・意見の相違があつたからこそ、逆に仲良くなり、幸せになるのです。そんなハッピーエンドを迎えるためにも、ほんの少し先の将来を考えると、彼女と彼の

ご両親とは円満でなければいけません。口調が少々強くなつてゴメンなさいね。とても大切なところですので、ついつい…。

縁談の場合、本人・家族・親族の取り巻き(友人・知人)が、良かれと思つてするアドバイスがもとで破談するケースが、わたしの経験上、多く見受けられる気がいたします。もちろん、悪気があつてアドバイスする人はいないのですが、なにせ反対する側・される側それぞれに応援がつきますでしょうか？ 彼自身の意見を後押しするのも大事なんですけど、イチドウシ(親友)なればこそ、こんなアドバイスが必要ですよ…。

「お父さん・お母さんは、もしもの時や最悪の事態を想定して反対しているんだよ。人生経験の中からの考えなんだよ」

わが子が憎く、不幸にしてやろうなんて親はいませんよ。ご両親から彼への愛情の裏返しですが、今回の結婚反対だと思います。早期解決の方法としては、幸せになつてもらいたいからこ



突然のカタビに遭い、コンビニエンスストアの前で雨宿り。そのそばには周囲にも目くれず毛繕いをしている猫一匹。その後…ぼくたちがチキンを食べ始めると、においに誘われてゴロニヤンと甘えて近寄ってきた。なんだ、その勝手気ままな動きは!!

那覇市上間にて (糸満市・ヨセミテ)

その反対であることに、彼自身が早く気付くことが大切です。そのお手伝いはセイショウさんでなければできないんですよ。西洋のことわざだったと記憶しています。「どんな猟師でも懐に入った鳥は撃てない」。ご両親と彼が対立する中には、問題解決の糸口さえも見出せないでしょう。子を案ずるご両親の懐に飛び込んで、「心配かけてゴメン、ありがとう」の感謝の言葉を、彼が口につけられるのなら、必ずこの結婚はハッピーエンドになると思います。セイショウさん！ わたしと同年代ですから、多分キュートな恋のエンゼル姿は似合わないと思いますが(ゴメンナサイ)、ご両親を大切にすれば、彼女も幸せになるつてこと、彼にアドバイスしてあげてくださいね。

自分自身の悩み・対人の悩み・恋の悩み・ヘンな悩み・大きな悩み・小さな悩み…そんな心の悩みにアドバイスが答えます。相談したいことを編集部までお送りください(匿名可・秘密厳守)。採用分には記念品を差し上げます。